

調査概要

- 温泉地が大学や医療機関などの専門機関と連携して、「新・湯治」の効果을把握するための計画を立てて調査を実施し、**国内外に発信する「新・湯治」による効果を把握**することを目的
- 入浴と組み合わせた過ごし方を提示し、利用者の心身の状態変化等に関する調査等を実施
- 実施側において、**温泉地全体の療養効果を科学的に検証**

実施区分・支援内容

①優先テーマ

- ✓ テレワークやワーケーションといった働き方改革に温泉地を活用する新しい取組が進展。温泉地にとっても企業にとってもメリットのある取組と考えられ、そういった取組を推進していくに当たって、働き世代が「新・湯治」によってよい効果が得られることが確認できる調査テーマ。

②通常テーマ

- ✓ ①以外のテーマで「新・湯治」によってよい効果が得られることが確認できる調査テーマ。
- ✓ 調査の実施に必要な調査協力者への謝金・滞在費用、専門機関職員の旅費、調査に必要な消耗品の購入・機器の借り上げ・分析費用等の調査費など(①・②共通)。

これまでの採択調査

テーマ	申請者チーム員	実証温泉地
温泉×ワークライフバランス	加賀市観光交流機構	加賀温泉郷
温泉地でのテレワークによる仕事の生産性、品質への影響	日本テレワーク協会	鳴子温泉郷
温泉地におけるエコツアーの効果に関する調査	水明館	下呂温泉
オーダーメイド型新・湯治効果の提案	薬師湯	温泉津温泉
「通い湯治」文化の担い手発掘に向けた協同調査	JTB京都支店	京都温泉
健康創成と温泉一生活習慣病の未病治一	犬吠埼温泉協議会	犬吠埼温泉
健康意識改革のための温泉ウェルネスプログラム	日本スパ振興協会	増富の湯
数理モデルに裏打ちされた新・湯治プログラムの提案	湯野温泉事業協同組合	湯野温泉
「依山湯治ビレッジ」の研究・開発	SD-WORLD	依山温泉
高濃度炭酸泉によるテレワーカーの心身健康への影響調査	ビッグロープ	長湯温泉
「目的から逆引きする入浴術・温泉地滞在術」を身に着ける旅	日本健康開発財団	伊豆長岡温泉 熱川温泉